

# 慈眼

## 第11号

発行所  
小城郡三日月町  
仁俣2554 妙暹寺内  
TEL・FAX  
0952-72-5805

日蓮宗佐賀  
教化センター

発行責任者  
辻 智 彰

印刷所 中野印刷所

平成十一年三月三十日、

「立教開宗七五〇年慶讃  
九州教区大会」が開催され  
ます



〈開宗宣言〉

日蓮大聖人が、はじめて「南無妙法蓮華經」とお唱えになられたのは、建長五年（一一五三）四月二十八日、千葉県安房郡天津小湊にある本山清澄寺の旭ヶ森の山頂でした。太平洋の彼方より暁闇をやぶってさし上る朝日に向けてお題目を十返お唱えになられました。これを日蓮宗では「立教開

宗」と申します。

以来、大聖人は一生をかけて衆生を救済せんと、お題目を広めてこられました。大聖人の願いは、多くのお弟子や、信者達によって今日まで唱え継がれて参りました。そして、今まさに立教開宗七五〇年の慶事を迎えようとしています。私達は、このお題目の歴史の重みをかみしめ、今日有り難くもお唱え出来る喜びを忘れてはなりません。

昨今、同じお題目をお唱えしながら人々に不安と迷いを与えている新興宗教が数多くあります。私達日蓮宗の宗徒は、立教開宗七五〇年を迎える今こそ、日蓮大聖人以来綿々と唱えられた本当のお題目を伝えていく大きな義務があります。

大聖人のお言葉に「地涌の菩薩の出現に非ずんば唱えがたき題目也」、「仏法は体のごとし、世間はかげのごとし、体曲がれば影ななめなり」とございます様に私達は末法の世の中の今、幸いにも値い難き法華經に結縁を頂き、唱題の喜びを味わう事が出来、本当に感謝の念にたえません。少しでも誤った心でお題目をお唱えしますと、大きな罪を作ってしまうのだと戒めておられ

ます。

さて、この度の慶事に向い、日蓮宗では、「誓願」というテーマで、本当のお題目をお唱えする為には、どの様な事を実践していったらよいかを皆様と一緒に考えて参りたいのです。

「誓願」と一口に申しても色々な事がありますが、日蓮大聖人の誓願は、「我れ日本の柱とならん、我れ日本の眼目とならん、我れ日本の大船とならん」という誓いでございました。まさに我々衆生を救済せんが為の大きな決意であります。

そして、私達の誓願とは、正しいお題目を唱え弘め、お釈迦様の真隨の教えである法華經を受持し、この地上に平和な仏国土を建設する努力を行う事であります。その為には、人々が互いを拝み合い感謝の心を持てる人格を形成していく事が必要であります。

法華經の教えの中に「如来使」というものがあります。法華經、お題目を受持する者は、僧俗の区別なく如来の使であり、お釈迦様のお使いの役を全する使命があるのです。

九州教区では来る三月三十日、グランメッセ熊本を会場に各地より五千名もの檀信徒が集い、去る平成九年五月二十八日中央大会に於いて分灯されました「誓願の燈」を中心に、改めて大聖人がお唱えされた「南無妙法蓮華經」のお題目を共に唱え、「如来使」の自覚を高めたものです。

## 立教開宗750年慶讃 九州教区大会

とき 平成11年3月30日(火) 開演 午後1時  
ところ グランメッセ熊本

※詳細は菩提寺にお尋ね下さい。



立教開宗七百五十年  
慶讃シンボルマーク

【特集】 《日蓮大聖人のご生涯》

混屯とした鎌倉時代には様々な宗派が興りました。その中で法華経こそが最勝の教えであると私達にお示し頂きました日蓮大聖人のご生涯をこれからたどって参ります。

日蓮大聖人は今から七十七年前、貞応元年（一二二二）二月十六日、安房の国（千葉県）小湊に漁夫の子としてお生まれになりました。幼名を善日磨といいます。天下分け目の戦いともいわれた承久の乱の翌年の年のことでもあります。

家柄などについては、父の貫名重忠は、遠州（静岡県）貫名の郷主でありましたが、わけがあり小湊へ流されました。母梅菊は、舎人親王十代の子孫で下総の国（千葉県）道野辺に住む大野吉清の娘であったと伝えられています。

小湊の海辺で幼年時代を送った善日磨は、十二歳の夏五月に両親の許しを得て、故郷に

〈誕生祥瑞〉

清澄寺は、標高三八三メートルの清澄山の山頂近くにあり、山は海辺からいきなり立ち上がって、道は険しく、うっそ



〈出家得度〉

うとした森に覆われて、古来の地方の山林修行の聖地である。寺のご尊は、本尊は、智恵・慈悲・功徳・虚空のようにならぬ。尽蔵であるといわれる虚空蔵菩薩です。宝亀二年（七七二）に不思議法師という行者が堂を建て、虚空蔵菩薩を祀つたのが始まりといわれています。そして承和三年（八三六）慈覚大師円仁によって天台宗に改められ、善日磨が入山された当時も天台宗の寺でありました。善日磨は、道善房という師のもとに十六歳で出家し、名も

善日磨が出家された動機は、「日本第一の智者となしたまえ」、すなわち仏の智慧を求め、お釈迦様の説かれた仏教の一つなのに、なぜ八宗十宗もあるのかという疑問を解明するために、真理を究めたいという思いからのことでした。

清澄寺での修行は、まず第一に学問・思索であり、天台密教の加持祈祷、そして当時の一般信仰である念仏往生（仏の姿や功德を心に思い浮かべ、口で阿弥陀仏の名を唱えること）でした。そして、往生とは極楽浄土に生まれ変わることを指します。つまり「南無阿弥陀仏」と唱えながら来世に望みを託すこと）の修行でした。が、その様な中でも暇さえあれば虚空蔵堂に籠られご宝前で祈られていた蓮長の前に奇瑞が表われたのです。それは、虚空蔵菩薩が眼前に高僧となつて現れ明星のような智恵の大宝珠を授けて下さった、というものです。

清澄寺に残る伝説では、この奇瑞を感じた蓮長は堂を退いて階段を下るとき、心身混蒙して凡血を吐き、絶して倒れてしまいました。その血を吐いた所に黒い斑点のある笹が後で生えたのでこれを「凡血の笹」と呼ばれています。つまり、凡夫の血を吐き捨てて仏弟子として歩み始めたことを示す象徴的な出来事だったのです。

この神秘体験の後「一切経を見るに八宗ならびに一切経の勝劣が手に取るように明らかになった」といわれる蓮長は、年来抱き続けてきた疑問を説く經典も、自分を導いてくれた師も清澄寺には存在しないことを感じ、暦仁元年（一二三八）十七歳で清澄山を下りられます。そして、それは、以後十数年に及ぶ研鑽の旅の始まりでもあったのです。

佐賀の老舗 信用本位 技術本位

辻の堂の仏だんや

**(株)本庄仏具総本店**

佐賀市堀川町(辻の堂) ● TEL 0952・23-2955(代)

花と葬儀 木下株式会社 平安閣冠婚葬祭互助会

OMEGA ALPHA SAAL 草苑 (SOU-EN) 木下株式会社

北佐賀草苑 佐賀市兵庫町藤ノ木115 (0952) 30-4040

南佐賀草苑本店 佐賀市本庄町大字本庄951 (0952) 25-1255



# 寺院紹介 (十二)

## 《浦寺山 妙海寺》

多久市東多久町仁位所



宮本智昭住職

妙海寺は多久市東多久町JR唐津線、東多久駅より北へ1Km、仁位所の小高い丘の上に在ります。

### 【歴史】〈開創以来五百五十年〉

嘉吉二年(一四四二)の創立で、既に五百五十年に及んでいます。

妙海寺は山号を浦寺山と云い、元々は天台宗・南多久町桐野・妙覚寺の住持隠棲の寺として鎌倉期に建立されました。室町期に日蓮宗との法論に敗れ改宗し以来日蓮宗寺院となり現在に至っています。

開山は本山松尾山光勝寺第六世、日伝

上人で別府多久家等の外護を受けながら寺門の興隆をみました。

明治二十六年の台風で本堂が倒壊しましたが翌二十七年に三十七世日久上人により再建されました。

昭和三年、第四十一世日静上人代に本堂鬼子母尊神堂を改築し、又上人自ら行願をたて正中山大荒行堂に入行して現在の妙海寺の礎を築かれました。先代第四十三世、日淳上人代に老柄化した本堂・庫裏の建て替え事業に着工し、平成四年本堂内陣工事竣工。途



〈妙海寺の御宝前〉

中日淳上人の突然の遷化にありました。が、現住職、智昭上人が受け継ぎ庫裏新築・境内地整備事業を竣工させ、平成六年落慶式を行い現在に至っています。

### 【寺宝】〈鰐口〉

仏堂や社殿の軒下につるしてあり、参詣者は布で編んだ網を振り動かして打ち鳴らす物で金鼓とも云います。妙海寺の鰐口は両耳に唐草模様が施され、江戸元禄期に蔵富氏より寄進されたとの銘があり、多久市の文化財に指定されています。



〈妙海寺の鰐口〉



仏壇・仏具・寺院用具・寺院納骨堂設計施工  
拝む心で尊い品を

## 梅谷佛具店

TEL 092-271-0456

本店 〒812 福岡市博多区下川端町10-9  
-0027 (地下鉄中洲川端駅下車)

TEL 0120-39-0456

支店 〒819 福岡市西区周船寺3-9-4  
-0373

TEL 092-806-7499

通産大臣認可 7産第2930号

## 株式会社 冠婚葬祭こころの会

三日月町大字久米2084-1 ☎72-3177・FAX72-3633

こころの会指定店

### 総合葬祭

### 有限会社

## 黄城

小城市270 ☎73-3938・FAX72-3633